

政策3 「まち」を共に創る（地域づくり・協働）

施策11 市民協働

現状・課題

(1) 地域活動の担い手減少

近年、人々の価値観やニーズの多様化、複雑化が進み、行政だけでは地域の課題にきめ細かく対応することが困難になってきました。また、人口減少により地域活動の担い手が減少するため、地域コミュニティの衰退が危惧されています。

(2) 市民協働の重要性

地域課題や市民ニーズに迅速・的確に対応していくために、市民、市民活動団体、事業者などと行政が、それぞれの知恵や発想を出し合い、共にまちづくりを行う、市民協働の取組がより一層重要になっています。

(3) 自治基本条例の理念

自治基本条例の制定により、「協働」の定義を明確にする自治体が増えています。本市では、住民自治の理念となる「関市自治基本条例」を市民との協議を重ね、2014年12月に制定し、地域委員会や市民活動団体などへの支援により、市民主体のまちづくりが進んできました。

(4) 自治会運営を取り巻く環境悪化

市民生活に最も身近な存在として、様々な活動で地域を支える自治会は、活動の担い手不足や活動への参加意欲の低下など、自治会運営を取り巻く環境が厳しくなっています。

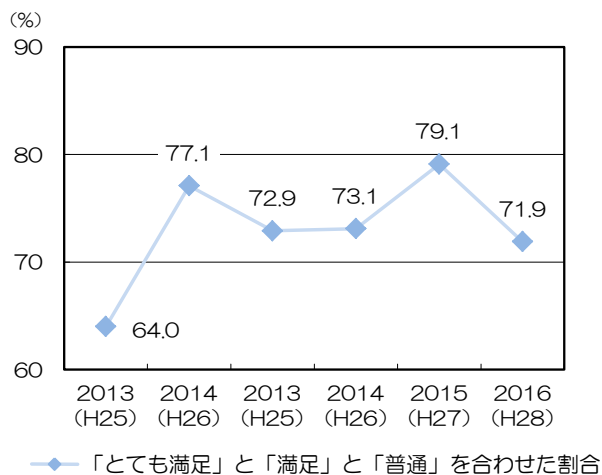
(5) 地域活動に対する市民の意識

市民アンケート調査の結果によると、「地域活動に参加していないが、今後参加したい」と回答した市民は5年前より減少しています。

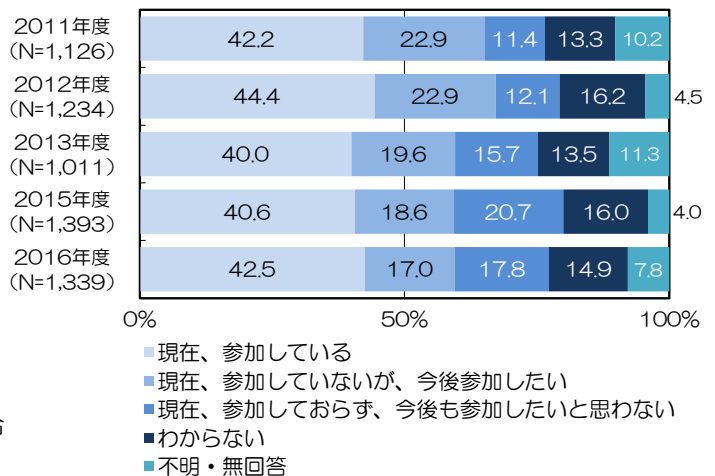
■ 市民意識調査の動向

「協働のまちづくり」施策の満足度の推移

（市民と行政の協働のまちづくりが進んでいるか）



地域活動への参加状況の推移

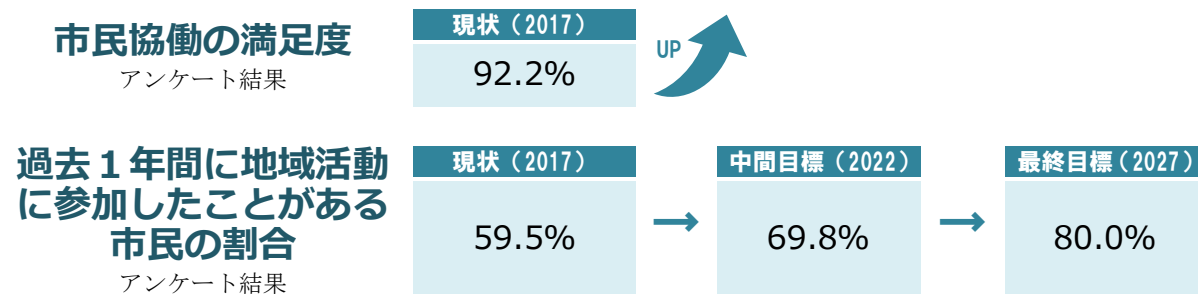


資料：関市まちづくり通信簿

めざす姿

- ・市民と行政が互いの特性を持ち寄り、目的や目標を共有し、お互いを尊重しながら、協働によるまちづくりが進んでいます。
- ・各地域が抱える様々な課題について、地域住民が自ら主体となって解決に取り組んでいます。

成果指標



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
	市民のまちづくりへの参画を促進します。	まちづくり市民会議 まちづくり出前講座 まちづくり講演会 ファシリテーター養成		● ● ● ●
	地域課題を解決する市民活動団体やNPO法人を支援します。	市民活動助成金 市民活動センターの運営 ソーシャルビジネス支援		● ● ●
●	地域委員会の活動を促進し、住民自治を推進します。	地域づくり支援交付金 地域支援職員の派遣		● ●
	自治会活動への支援を行うとともに、加入率の向上を目指します。	自治会コミュニティ活動奨励金 自治会未加入者及び転入者への啓発活動		● ●

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

関連計画 ・ 地域振興計画（各地域委員会の活動計画）

施策 12 若者活躍

NEW

現状・課題

(1) まちづくりにおける大学や高校などの活用

本市には、大学や専門学校、市立・県立高校などが立地しており、少子高齢化によりまちづくりの担い手が減少する中、本市にある各学校の知的資源や多くの学生をまちづくりに生かすことが求められています。

(2) 若者のまちづくり参画の現状

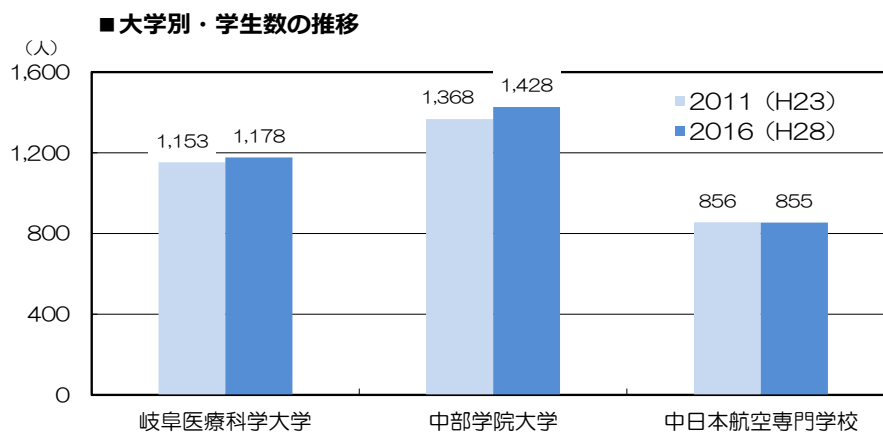
若者は地域活動への参加の機会や情報を得る機会が少なく、若者が持つ想像力や行動力が、まちづくりへと繋がっていません。

(3) 地域づくりの担い手としての若者への期待

若者が、地域づくりの担い手として、同世代だけでなく多様な地域住民と関わりを持ちながら、主体的に活動できる取組が必要とされています。

(4) 若者が地域で活躍するために必要なこと

若者が地域づくりの担い手になるためには、地域における体験や活動を通じて、地域に対する愛着を醸成することや、若者が地元で活躍できるという選択肢を示す必要があります。

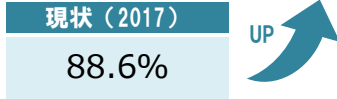


めざす姿

- ・若者が集い、若者のアイデアによるまちづくりが進んでいます。

成果指標

若者活躍の満足度
アンケート結果



高校生まちづくり事業
実行件数
企画の実行件数



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
●	若者が地域で活躍できる環境づくりを進めます。	高校生まちづくり事業 (VS プロジェクト)		● ●
	大学等と連携し、知的資源や学生の力をまちづくりへ生かします。	大学連携 (インターンシップ、共同研究) SEK Iゼミ	●	● ● ● ●

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



VOICE工房 高校生とのワークショップ



高校生によるまちづくりプロジェクト

基本計画

政策 1

政策 2

政策 3

政策 4

政策 5

政策 6

政策 7

施策 13 過疎対策・地域振興

現状・課題

(1) 過疎地域をとりまく状況

2000年4月に、2009年度までの10年間の時限立法として過疎地域自立促進特別措置法（過疎法）が施行され、これにより各地域の過疎地域対策を推進してきました。過疎法は、2020年まで期限が延長されました。

(2) 過疎地域の老年人口の推移

2010年と2015年の住民基本台帳人口を用いた地域別の推計人口をみると、「洞戸・板取地域」「武儀・上之保地域」では減少が著しく、ともに2020年からは、人口のうち老年人口（65歳以上）が最も高い割合を占めると推計されます。

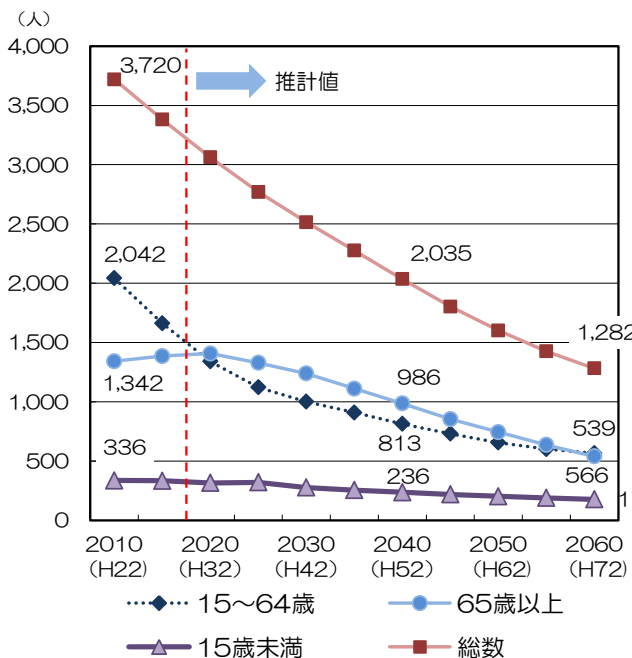
(3) 生活関連サービスの縮小やコミュニティの衰退

急激な高齢化の進展は、地域社会の基盤を脆弱化させ、地域活動の担い手不足や日常生活を送るために必要な各種サービスの縮小などを生じさせます。コミュニティを維持していくことが難しい状況になりつつあるため、地域に住む人々が安心して暮らせる環境づくりや集落の維持・存続に向けた対策を推進する必要があります。

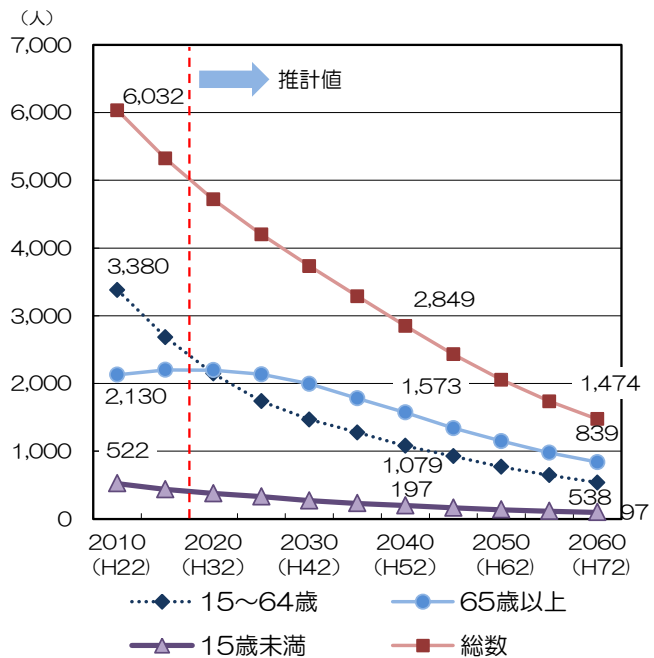
(4) 外部との交流や地域資源を活用した過疎地域の活性化

地域の活性化を図る観点から、過疎地域での移住・交流人口を増やすとともに、外部からの人材に活躍してもらう機会も必要です。また、多くの人に訪れてもらうために、既存の地域資源を見直し、新たな価値を付加することで、個性ある魅力的な地域をつくることが重要です。

■ 洞戸・板取地域の推計人口



■ 武儀・上之保地域の推計人口



資料：住民基本台帳、コーホート要因法を用いた推計

めざす姿

- ・必要なコミュニティや生活機能等が維持・確保され、住み慣れた地域で安心して生活できています。

成果指標

過疎地域振興の満足度

アンケート結果

現状（2017）

79.8%



地域への移住者数

空家バンクを利用し移住した人数

現状（2016）

24人



中間目標（2022）

35人



最終目標（2027）

50人

取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
●	外部人材などを活用し地域の活性化を図ります。	地域おこし協力隊の配置		●
	住み慣れた集落にいつまでも安心して暮らせる環境づくりを進めます。	集落支援員の配置 買い物支援	●	●
	地域資源の価値を見直すとともに、新たな資源を発掘します。	地域の宝磨き上げ（寺尾千本桜や板取あじさいの補植、案内看板の設置など）		●

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。



地域おこし協力隊の活動



（左上）板取地域 あじさいロード

（左下）洞戸地域 円空仏 狛犬

（右上）上之保地域 ゆず

（右下）武儀地域 高澤観音

（中）武芸川地域 寺尾ヶ原千本桜公園

関連計画

- ・関市過疎地域自立促進計画（2016～2020）
- ・山村振興計画（2015～2024）
- ・辺地計画（2018～2022）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 14 多様性社会（ダイバーシティ） NEW

現状・課題

(1) ダイバーシティの推進

まちづくりの担い手が減少するなか、様々な地域課題に的確に対応するためには、女性、高齢者、障がい者、外国人、LGBTなど多様な人たちが、それぞれの個性と能力を最大限に発揮できるような多様性社会を構築することが求められています。

(2) 女性の活躍推進をとりまく状況

2015年に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が制定され、国において「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針」が策定されています。また、同年には「第4次男女共同参画基本計画」が策定され、女性の活躍推進とあわせて男性中心の労働慣行等を変革することなどが目指されています。

(3) 本市の男女別労働力の推移

本市の男女別労働力率の推移をみると、男性では大きな変化はありませんが、女性では30歳代の出産育児期にあたる年代に一旦低下します。今後、子育て世代が望む働き方ができる雇用の場を増やすことが必要です。

(4) 働くことを希望する女性への支援

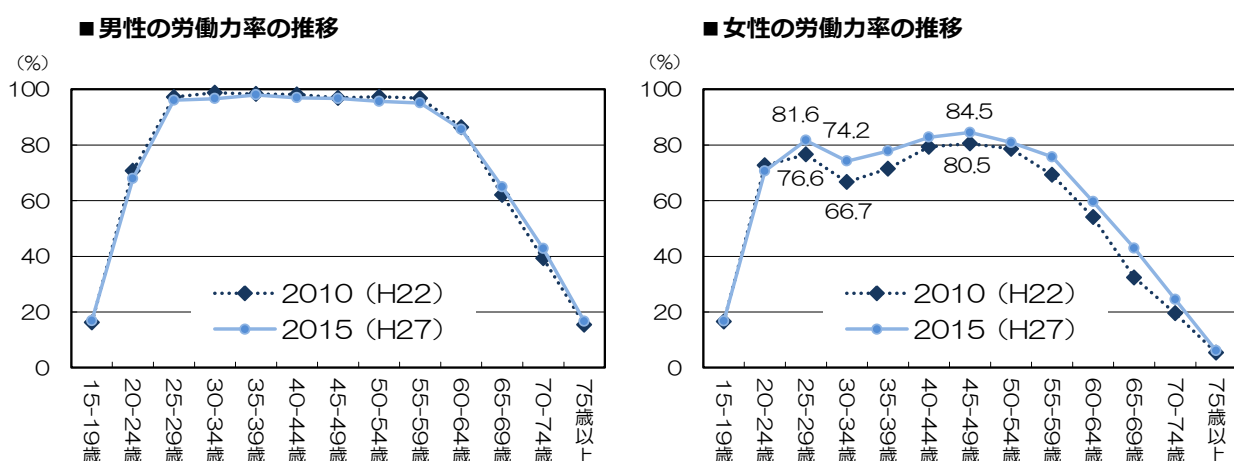
働くことを希望する女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けた取組が求められています。

(5) 性の多様性への理解促進

性の多様性を尊重する社会が求められており、LGBTに対する理解や支援の必要性が高まっています。本市では2016年8月にLGBTフレンドリー宣言を行い、研修の開催やハンドブックを作成し配布するなど、LGBT理解に関する啓発を進めています。

(6) 在住外国人の現状と必要な支援

近年、市内に在住する外国人は微増傾向となっており、また、多国籍化が進んでいます。それに伴って多言語通訳など、行政に求められる支援も複雑化しています。

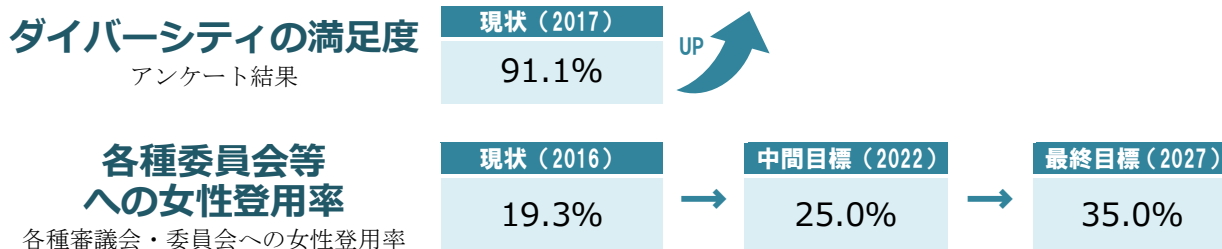


資料：国勢調査

めざす姿

- ・性別や国籍などに関わらず、多様な市民がまちづくり活動に取り組み、自分らしく豊かに暮らしています。

成果指標



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
	市民の男女共同参画への理解を促進します。	男女共同参画セミナー 男女共同参画意識の啓発		●
●	働くことを希望する女性がその希望に応じた働き方を実現できる取組を推進します。	女性の活躍推進セミナー ワークライフバランスを推進する市内企業の紹介 女性が働きやすい職場認定制度 女性自立応援塾	● ● ●	●● ●● ●●
	性の多様性を認める社会の実現を目指す取組を推進します。	LGBT理解に対する啓発 出前講座やセミナー 相談窓口の設置 公共施設のトイレ等の表示の見直し パートナーシップ宣誓書受領証の発行	●	● ● ● ●
	様々な国の多様な文化慣習への理解を促進し、日本人と外国人との交流機会の充実を図ります。	国際理解の啓発 国際交流協会の活動支援		
	在住外国人に対し、生活上のサポートを行います。	ブラジル人相談員の配置 広報せきの翻訳 外国人に対する防災情報の周知 備蓄倉庫内の多言語シート等の整備		

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

- 関連計画**
- ・第2次せき男女共同参画まちづくりプラン（2009～2018）
 - ・第3次せき男女共同参画まちづくりプラン（2019～2028）
 - ・関市職業生活における女性活躍推進計画（2018～）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

施策 15 人権

現状・課題

(1) 人権問題の現状

人権問題は、市民一人ひとりの意識によるところが大きく、市民の人権に対する理解は進んできたものの、同和問題をはじめ、女性や子ども、高齢者、障がい者への差別、虐待、DVなど、偏見や理解不足による人権問題が今もなお存在しています。

(2) 新たな人権問題

社会構造の複雑化に伴い、ヘイトスピーチやインターネットによる人権侵害、性的指向や性自認を理由とする偏見や差別、東日本大震災を起因とする偏見や差別など、人権に関する新たな問題が生じています。

(3) インターネットによる人権侵害

近年ではインターネットの普及に伴い、その匿名性や情報発信の容易さから、個人の名誉やプライバシーを侵害したり、差別を助長する表現が使われるなど、様々な問題が発生しています。

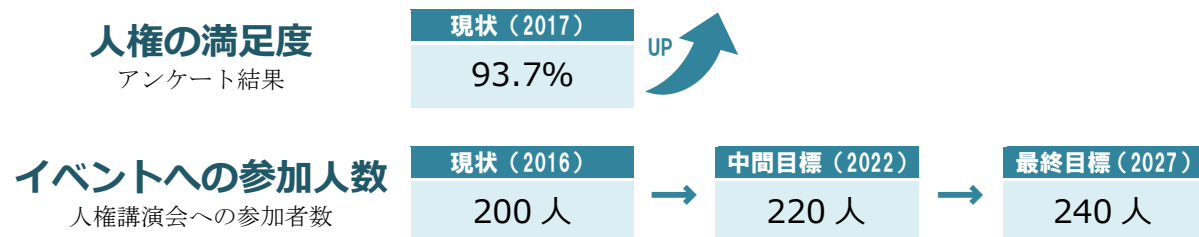
(4) 人権が尊重される社会の実現

人権が尊重され、互いを支え合えるまちづくりをめざして、学校・家庭・地域社会が一体となって人権問題の解決に取り組むことが重要です。

めざす姿

- ・ 互いを認め合い、尊重し合うことにより、あらゆる差別のない社会が実現しています。

成果指標



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
●	人権教育及び啓発を行います。	人権講演会 街頭啓発 職員人権研修会		
	人権に関する相談の機会を充実します。	人権相談 人権擁護委員		

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあわせています。



人権講演会



保育園での人権啓発活動

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

関連計画 ・ 第2次関市人権教育・啓発に関する基本計画（2017～2026）

施策 16 生涯学習

現状・課題

(1) 地域課題解決のための生涯学習

地域社会の抱える課題が多様化・複雑化していることを踏まえ、地域課題を解決する担い手を育てるための生涯学習が重視されています。

(2) 1 市民 1 学習の推進

学習などを通じて得た豊富な知識、技術及び経験は、自身の生活の充実や地域の課題解決につながります。そのため、幅広い世代にわたって学習活動の活性化を推進する必要があります。

(3) 地域づくり型生涯学習

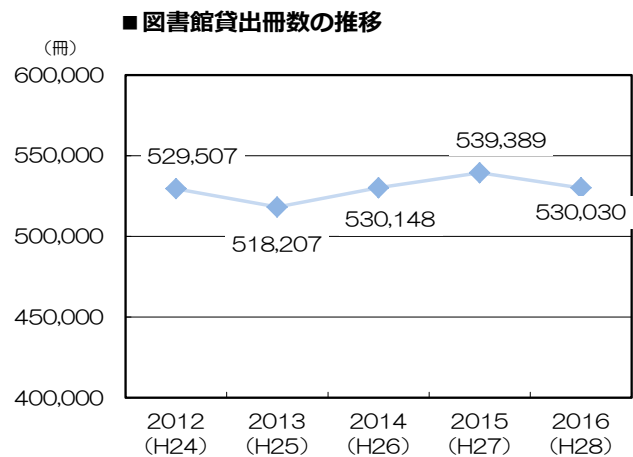
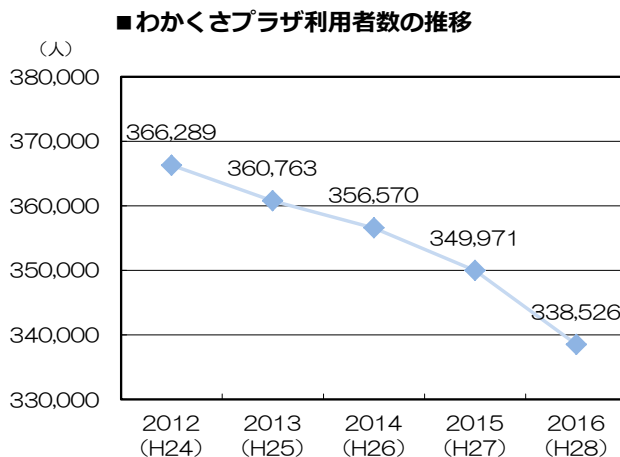
生涯学習の成果を地域社会に役立てる「地域づくり型生涯学習」を推進するために、人材育成と学習成果を活用する場の拡充が求められています。

(4) 生涯学習拠点としての図書館の充実

市民の学習意欲が高まり、多様な学習機会が求められるなかで、生涯学習活動を支援する施設として図書館の充実が求められています。

(5) 子どもへの関心と子どもの社会性の低下

地域のつながりが希薄になっており、地域の子どもに対する関心の低下や、大人と子どもとの交流機会の減少などがみられます。また、子ども同士の集団活動の機会が少なくなっており、コミュニケーション能力や社会性が育ちにくくなっています。



資料：生涯学習課

めざす姿

- ・市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、学習の成果を生かして地域の課題解決を図っています。
- ・家族の絆や地域の交流が深まり、青少年が健全に成長しています。

成果指標

生涯学習の満足度

アンケート結果

現状（2017）

91.5%



出前講座登録者数

生涯学習まちづくり出前講座（市民）
登録者数

現状（2016）

110人



中間目標（2022）

128人



最終目標（2027）

143人

取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
	市民が多様な場所や方法で自発的に学べる機会を提供します。	公民館学習メニューの提供 大学連携による講座		
●	自主的な生涯学習活動を促進し、学習成果を地域づくりにつなげる人材を育成します。	いきいきフェスタ 学習成果活用の場の提供 生涯学習まちづくり出前講座		● ● ●
	読書に親しむ機会の提供と環境の整備を行います。	蔵書の充実 電子図書館 図書館情報システム 読書推進活動 読書のまち宣言	●	
	親子のふれあいや仲間づくり、情報交換の場を提供します。	乳幼児期家庭教育学級		
	地域ぐるみでの青少年の健全育成を促進します。	少年センター活動 市内一斉子ども見守りボランティア活動 あいさつ運動 家庭の日の推進 青少年育成市民大会 青少年健全育成協議会活動		
	結婚を望む男女への総合的な結婚支援を行います。	結婚相談 婚活イベント 婚活に関する情報発信	● ●	● ● ●

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7

関連計画

・ 関市子どもの読書活動推進計画

施策 17 スポーツ

現状・課題

(1) 市民のスポーツの取組状況

週1回以上スポーツに取り組む人の割合は、全体で半数を切っています。特に、子育て、働き盛り世代である20～40歳代で低くなっています。

(2) スポーツがもたらす効果

スポーツには、体力の向上、健康の保持増進、余暇の充実など様々な効果があります。またスポーツは、市民同士の交流や地域コミュニティの形成を促進します。そのため、より多くの市民が気軽にスポーツを楽しめる環境をつくる必要があります。

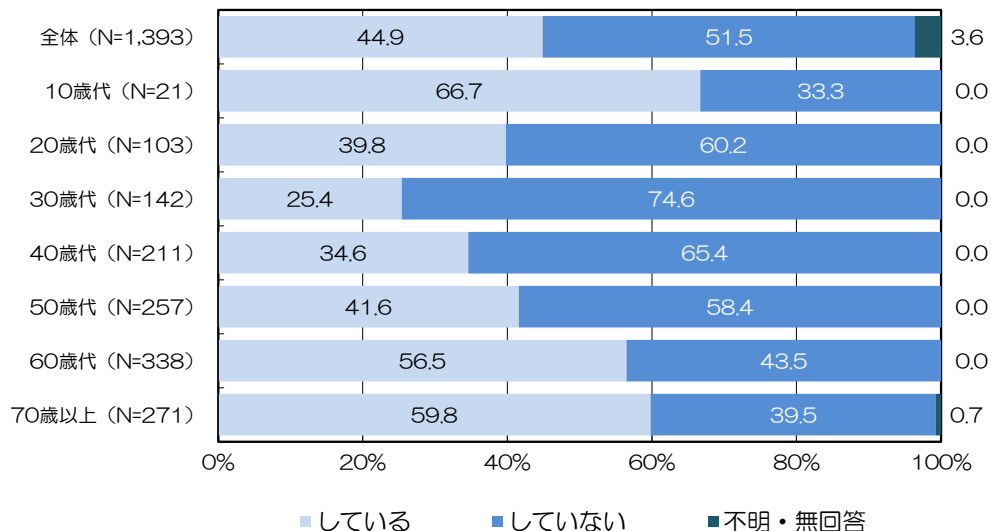
(3) 大規模な国際大会の開催によるスポーツ機運の高まり

ラグビーワールドカップ2019日本大会や2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、市民のスポーツに対する関心が高まっています。市民が参加できる大会・イベント・教室の開催や全国レベルの大会の誘致など、より一層スポーツを楽しむことができる機会や場の提供が求められています。

(4) スポーツ施設の老朽化に伴う問題

スポーツ施設の老朽化に伴い、緊急性の高いものから改修を行い、施設の安全・安心を確保していくことが重要です。市民の使用頻度が低い施設については、その在り方を検討する必要があります。

■週1回以上運動やスポーツに取り組む人の割合

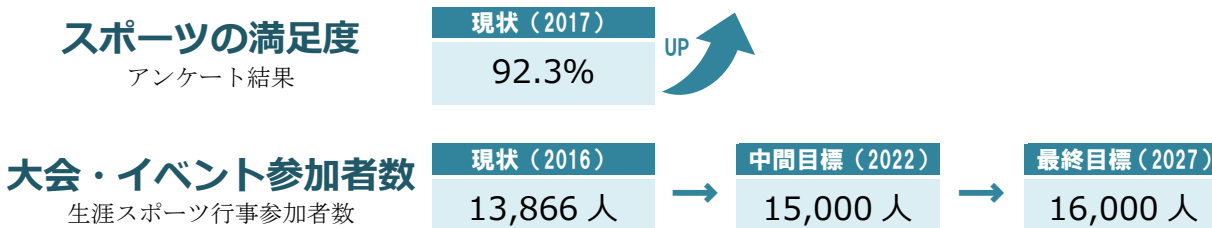


資料：平成27年度関市まちづくり通信簿

めざす姿

- ・市民一人ひとりが、ライフスタイルに応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいます。

成果指標



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
	生涯スポーツ、子どもの運動・スポーツ活動を推進します。	スポーツ活動機会の提供 スポーツイベント（関シティマラソン、サイクル・ツーリングなど） スポーツ教室 スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブの育成支援		
●	競技スポーツを推進します。	スポーツ観戦の場の提供 選手の育成強化 体育協会の活動支援 ナショナルチームキャンプ地誘致		
	スポーツを支える人材育成や組織の活性化などを推進します。	スポーツボランティアの育成・活用 スポーツ指導者の活動機会の創出 スポーツ推進委員の育成		
	スポーツ施設的环境整備を進めます。	中池運動公園（陸上競技場、市民球場など） 総合体育館 スポーツ施設（肥田瀬運動公園、片倉グラウンドなど）		

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

基本計画

政策 1

政策 2

政策 3

政策 4

政策 5

政策 6

政策 7

関連計画 ・ 関市スポーツ推進計画（後期計画）（2015～2019）

施策 18 文化・芸術・歴史

現状・課題

(1) 様々な分野と連携した文化振興

グローバル化の進展など社会の状況が著しく変化する中で、観光、まちづくり、国際交流等の幅広い関連分野との連携を視野に入れた総合的な芸術文化政策の展開がより一層求められるようになっていきます。

(2) 市民の文化活動の状況

文化振興に関するアンケートでは、鑑賞を除いた芸術文化に関わる活動をしていない市民の割合は約7割となっています。

(3) 文化振興による効果

芸術文化は、人々の心の豊かさや生活の潤い、満足感などをもたらすものであり、まちの魅力を高める上でも欠かせないものです。また、地域の歴史や伝統を学ぶことは、地域への愛着や誇りの醸成につながります。そのため、市民のだれもが文化、芸術、歴史に触れる機会の提供と情報発信が求められています。

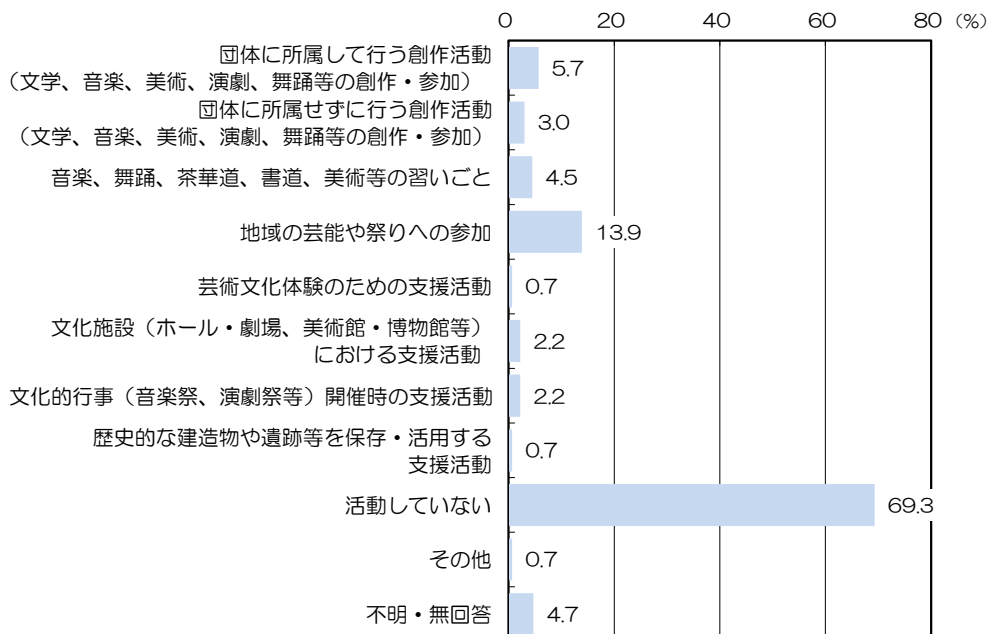
(4) 芸術文化団体の活動の低迷

市内には様々な芸術文化団体が活動していますが、会員の高齢化や固定化が進んでいます。芸術文化活動に対する幅広い世代の関心を高め、具体的な活動への参加を促進することが必要です。

(5) 文化財等の重要性と活用

本市には、関伝日本刀鍛錬技術、円空、小瀬鶴飼、史跡弥勒寺遺跡群などの伝統ある郷土文化や文化財等の貴重な地域資源が多くあります。市民がその重要性を認識し、保存、継承、活用を進めていくことが重要です。

■芸術文化に関わる活動（鑑賞を除く）を行った市民の割合

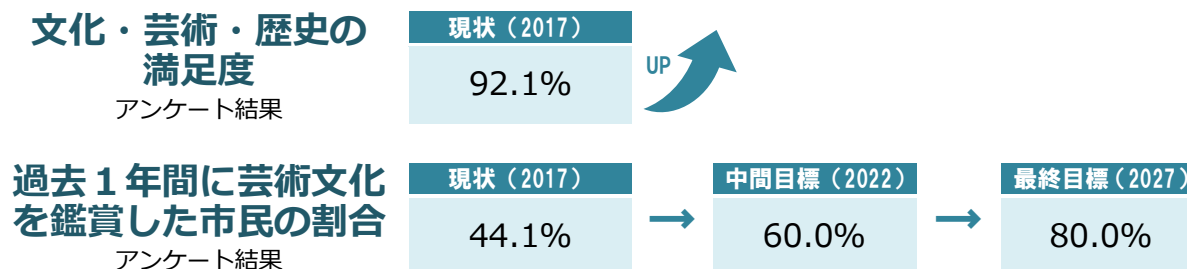


資料：平成 27 年度文化振興に関するアンケート調査

めざす姿

- ・芸術文化活動がしやすい環境が整備され、市民のだれもが芸術文化に親しんでいます。
- ・市民共有の財産である歴史や文化財について、市民がその重要性を認識し、適切な保存、活用がされています。

成果指標



取組

重点	取組の方向性	取組の主な内容	New	SEKIism
	だれもが芸術文化活動に参加できる機会を充実します。	市民の劇場 文化祭、美術展、文芸作品展、俳句講座等の開催 どこでもギャラリー事業		
●	文化的な感性を育むため、だれもが芸術文化を直に感じることができる機会を提供します。	子ども文化事業 小中学校、保育園、幼稚園、高齢者施設などを対象としたアウトリーチ 演劇的な手法を用いたワークショップ		
	芸術文化を支える人材、団体づくりを推進します。	アーティストバンク 文化協会の活動支援	●	
	歴史と伝統ある郷土文化の保存、継承、活用を図ります。	関伝日本刀鍛錬技術保存会の活動支援 獅子舞保存会の活動支援 弥勒寺官衙遺跡群保全史跡公園の整備 埋蔵文化財保全 文化財保護活用		●●●●
	芸術文化施設を整備します。	文化会館の整備 文化施設の運営整備（惟然記念館など）		

「SEKIism」は、●人口減少対策、●地域経済循環、●地域力向上、●地域愛醸成 をあらわしています。

関連計画

- ・関市文化振興計画（2017～2026）
- ・弥勒寺史跡公園整備基本計画（2015～2033）

基本計画

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

政策6

政策7